

開講期	2026年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	6114 西洋美術史1			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜3限				
教室	H302教室				
代表教員	君島 彩子				
担当教員	君島 彩子				
テーマと到達目標	本講義では、西洋美術史を様式の変遷としてではなく、聖書や神話といった物語がイメージとして生成・変容してきた歴史として捉える。到達目標は、①宗教画・神話画を歴史的な脈から読み解く力を養うこと、②象徴や寓意の意味を言語化できるようになること、③美術史を「見る力」を育てる学問として理解することである。				
概要	本講義は、西洋美術史を「物語とイメージの歴史」として学ぶ全15回の入門講義である。前半では、象徴や寓意の読み解き方を基礎に、旧約聖書の創造や英雄・女性の物語を通して神と人間の関係を考察する。中盤では聖母像や新約聖書の受胎告知、キリストの生と受難、復活、聖人や終末の図像を扱う。後半ではギリシャ神話や北欧・ケルト神話が近代美術に与えた影響を検討し、最終回では「美術を見る視点」の変化を振り返る。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	西洋美術史とは何か? —2枚の絵の比較から始まる物語—				対面授業
第2回	見えない意味を読む —象徴と寓意の美術史—				対面授業
第3回	世界のはじまり —創造・楽園・人類社会のはじまり(旧約聖書①)—				対面授業
第4回	選ばれた民の物語 —アブラハム・モーセ・イスラエル王国へ(旧約聖書②)—				対面授業
第5回	英雄・女性・家族 —旧約聖書が描く人間ドラマ(旧約聖書③)—				対面授業
第6回	聖母から見る美術史 —崇高なる慈愛の系譜、その影に潜む支配の意図—				対面授業
第7回	救世主の誕生 —受胎告知とキリストの誕生(新約聖書①)—				対面授業
第8回	奇跡を描く —宣教と救済のイメージ(新約聖書②)—				対面授業
第9回	死を越えて —受難・復活・昇天の物語(新約聖書③)—				対面授業
第10回	聖人と終末 —教会の広がり最後のビジョン—				対面授業
第11回	神々の世界 —ギリシャ・ローマ神話とその図像体系—				対面授業
第12回	愛と変身の物語 —ギリシャ・ローマ神話が生んだイメージの力—				対面授業
第13回	もうひとつの神話世界 —ケルト・北欧神話・民間伝承と近代美術—				対面授業
第14回	イメージの歴史としての物語				対面授業
第15回	物語は終わったのか? —現代美術における聖書と神話—				対面授業
成績評価の基準	授業中におこなうテスト及び提出課題、授業態度から総合的に評価。				
履修にあたっての留意事項	国立西洋美術館の常設展を各自で見学してください(詳しくは授業中に説明) 本授業では多くのスライドを使用します。講義中は画面の図解やイメージを確認しながら、「話を聞くこと」に集中してください。スライド内の文字情報は授業後に共有します。授業中にすべてを書き写そうとせず、復習の際に改めて内容を確認することを推奨します。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	授業中に適宜指示または配布。		
教科書		教科書(ISBN)	
参考文献	『カラー版 西洋美術史』高階秀爾監修 美術出版社	参考文献(ISBN)	4568400643

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------